

大雨被害、各所に広がる！

連続する台風で網走の観測史上記録的な大雨になり、被害は各所に広がりました。

特に農業被害は、全地域で101ヶ所206.33haが土砂流出や冠水となりました。道路では97路線・181ヶ所で路盤崩壊や法面崩壊などの被害となりました。

避難情報も多数発令されました。20日18時53分にオシヨップ川氾濫のため鱒浦2丁目地区の一部に避難勧告、21日には土砂災害発生があるとして二ツ岩地区の一部に避難準備情報発令、その後時間の経過とともに市内36地区の一部に避難準備情報が発令されました。22日19時30分、網走川の氾濫の恐れがあるため、大曲2丁目地区の一部、23日9時30分に網走川に洪水の恐れがあるため、呼人地区の一部、24日土砂災害の恐れがあるた



市道卯原内の土砂崩れ現場

	1時間(最大)	合計降水量(ミリ)	写真
8月17日	14.0	44.5	歩道が陥没した南公園
19日	8.5	23.5	
20日	24.5	100.0	
21日	25.5	75.5	
22日	7.0	14.5	
23日	13.5	13.5	
※8/17~23通算降水量		275.5ミリ	
※8月降水量(29日まで)		423.5ミリ	

め、南12・13・14条西・錦町地区の一部に避難準備情報発令(解除)されました。25日土砂災害の恐れがあるため、つくしヶ丘4丁目地区の一世帯に避難準備情報発令(30日現在発令中)されました。避難準備情報発令を知らなかったという声も一部に聞こえるなど、防災の備えを強める事が求められそうです。



風景

原水爆禁止世界大会報告会開かれる

原水爆禁止網走協議会は、8月30日エコセンター視聴覚室で世界大会報告会を行いました。報告会では、広島での世界大会に参加した高橋公美(新婦

世界大会の報告をする高橋さん

人事務局長)さんから分科会での広島県呉市にある呉基地についての報告がありました。

「被爆地ヒロシマをとりまく日米軍事基地群・軍需産業」ということで、あの原爆が投下されたヒロシマの周辺が日米の軍事基地になっている事実が写真を通して報告されました。参加者から「これほどまで軍事基地化がなされているとは思っていなかった、大変勉強になりました」などの感想が出されました。また、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」が大会の場ですみやかに大きな運動にして取り組むことが確認されたことも報告されました。網走原水協では、市民のみなさんに署名のご協力をお願いしています。

松浦奮戦メモ

安倍内閣は、共謀罪を名前を変えて9月召集の臨時国会に提出する方向で検討しています。2020年の東京五輪や「テロ対策」を口実にしています。共謀罪は国民の強い反対で過去3回廃案になった法案です。廃案となった法案では、適用対象を「団体」としており労働組合や市民団体に適用される恐れがあると批判されました。それを意識して「組織的犯罪集団」

が対象としています。また「相づちを打っただけで犯罪になる」といった懸念を打ち消すため、犯罪の計画に資金の提供などの具体的な「準備行為」を行うことを犯罪の構成要件に加えました。しかし「組織的犯罪集団」や「準備行為」といった言葉の定義は極めてあいまいで、捜査当局の解釈でいくらでも拡大され、市民への弾圧に悪用される恐れがあります。そこには安倍内閣の本性が見えます。

流水

「国会かけある記」

衆議院議員 畠山和也

▼道内各地の台風被害の調査にまわると、想像を超える驚くような実態ばかりでした。畑が全面的になくなっている、線路が埋まるほどの土砂が流れている。▼一週間に三つの台風が襲われ過去最高の雨量となり、大きな災害となりました。党道委員会は、私を本部長に、党道議団と森つねと道国政相談室長を副本部長とする災害対策本部を立ち上げました。私は十勝・日高・北見地方に足を運びました。▼土砂崩れの直撃を受けた日高町の水産加工会社では、「従業員十人で泥をかきだした。四つある大型冷蔵庫のうち無事だったのは一つだけ」。常呂川の氾濫でタマネギ畑が全面流失した北見市端野の農家からは、「雪が降る前に農地改修できなければ、来年は営農できなくなる」。見渡す限り見えるのは、流木や土砂ばかりでした。▼端野で亡くなられた男性の、お父さんにもお会いしました。胸が痛みました。「同じような被害が出ないように、政治でも力を尽くします」と話すことで、私も正直いっぱいでした。▼個別に省庁と連絡を取ったり、八月二十九日には紙智子・岩淵友の両参院議員と道議団とで、政府交渉をおこなうなかで要望を反映させました。さらに被害の把握を続け、政府へも二度三度と支援を求めます。再び台風・大雨が来ないとも限りませんので、ぜひ読者のみなさんもお気をつけください。